

いちご一會とちぎ国体

夢を感動へ。感動を未来へ。



10月9日、いちご一會とちぎ国体自転車競技（ロードレース）が町スポーツセンターをスタート・ゴール地点とし、17.6kmの周回コースで行われました。町内の小中学生や町民、全国から訪れた観客の応援を背に、選手たちは3年ぶりに開催された国体（第77回国民体育大会）で、郷土の誇りを胸に白熱したレースを展開しました。

また、大会運営にあたっては、多くのボランティアが活躍し、笑顔とおもてなしの心で全国から訪れた方々をお迎えしました。



▲地元開催で活躍した栃木県選手団の皆さん



▲力走する栃木県代表の新沼杏菜選手は女子の部11位と健闘〔中央〕

秋の訪れとともに、都道府県の代表選手が本町に集結し、国体のタイトルをかけた熱いレースを繰り広げました。女子の部には29名、少年男子の部には82名、成年男子の部には79名の選手が出場しました。栃木県代表の石原悠希選手（成年男子の部）は9位となり惜しくも入賞は逃しましたが、トラックレース（宇都宮市開催）との合計得点で競われる女子総合成績では栃木県は2位、男女総合成績では悲願の優勝を果たしました。

熱戦を振り返る



▲池澤議長が緊張を解き放つ号砲を鳴らしました



▲全国から訪れた選手を激励する平山町長

平山町長から選手へ激励の言葉を贈り、「女子の部」と「成年男子の部」のスターターを町長が、「少年男子の部」のスターターを池澤議長が務めました。



▲幸福の科学学園チアダンス部の皆さん

レースに先立ち、幸福の科学学園チアダンス部の皆さんが元気に笑顔を届ける全力のパフォーマンスで会場を盛り上げました。

出発式